MUSEUM NEWS

2015.12 ▸ 2016.1

旅と芸術ー発見・驚異・夢想

アンリ・ルソー
《マルヌ河畔（秋、ダムリー・ブールソーの眺め）》
1906 年　公益財団法人ハーモ美術館蔵

とき・11/14(土)～1/31(日)
ところ・2階展示室
内容・日常生活から離れた場所での出会い、驚き、感動――旅は私たちに世界の多様性を教え、古くから創造力の源泉となってきました。異郷に対する好奇心やエグゾティスム、遠い過去へのノスタルジア、身近な風景の再発見、空想世界への憧れなど、旅を巡る様々なテーマを、絵画、写真、版画、挿絵本を通して読み解きながら、旅と芸術の物語へ誘います。
観覧料・一般1200円(960円)、大高生960円(770円)
※( )内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。

《関連イベント》
○ **ミュージアム・カレッジ**
とき・12月2日(水)「企画展<旅と芸術–発見・驚異・夢想>について」
講師：平野到(当館学芸員)
12月8日(火)「はるかなる過去への旅–グランド・ツアーと美術–」
講師：松原良輔(埼玉大学教授)
各日とも15:00～16:30(14:30開場)
ところ・2階講堂／**内容**・本展にちなんで、埼玉大学教養学部と埼玉県立近代美術館が共同で開催する市民大学講座です。／**定員**・当日先着100名／**費用**・無料／**問合せ**・048-858-3042(埼玉大学「ミュージアム・カレッジ担当」)

○ **ミュージアム・コンサート「旅する音楽」**
とき・12月13日(日)14:30～(開場は30分前、演奏時間は約60分)
ところ・地階センター・ホール／**内容**・"旅する音楽家"中山うりと、その仲間がお贈りする、異国を巡る音楽、日常のなかの異風景をかいま見せる音楽。／**出演者**・中山うり(ボーカル、アコーディオン、トランペット、ギター)、南勇介(ベース)、織田祐亮(トランペット、バルブトロンボーン)、黒川紗恵子(クラリネット)
定員・60席(当日11:00より1階受付で整理券を配布)／**費用**・無料

○ **ミュージアム・コンサート「遥かなる世界へ」**
とき・1月10日(日)14:30～(開場は30分前、演奏時間は約60分)
ところ・2階講堂／**内容**・日常から離れて、心を空想の世界へと誘う音楽を、クラシックの珠玉のレパートリーからお贈りします。／**出演者**・横坂源(チェロ)、長崎麻里香(ピアノ)
定員・80席(当日11:00より1階受付で整理券を配布)／**費用**・無料

○ **上映会「映画の魔術師ージョルジュ・メリエス」**
とき・1/24(日)11:00～、15:00～の2回上映(開場は30分前)
ところ・2階講堂／**内容**・ジュール・ヴェルヌの小説から着想を得た世界最初のSF映画「月世界旅行」のカラー復元版を上映。あわせてメリエスの謎に迫るドキュメンタリーも上映します。
上映作品・①「月世界旅行」(カラー復元版、監督＝ジョルジュ・メリエス、1902年、フランス、15分32秒)、②「メリエスの素晴らしき映画魔術」(監督＝セルジュ・ブロンベルグ、エリック・ランジュ、2011年、フランス、63分)／いずれもブルーレイによる上映
定員・各回100名(当日先着順)／**費用**・無料
※ご希望のグループに本展の見どころをご案内します(予約制)。お問い合わせ・ご予約は教育・広報担当(電話 048-824-0110)まで。

アートフル∞プログラム MOMASの扉

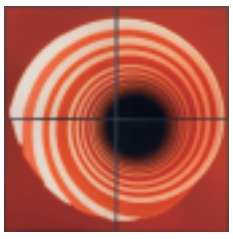
とき・毎週土曜日13:30～15:30
対象・幼児から大人まで(プログラムにより対象年齢が異なります。)
費用・「企画展物語 親子クルーズ」「工房」は材料費500円。その他は無料。／**申込方法**・館内で配布する申込用紙によりFAXでお申し込みください。申込用紙はホームページからもダウンロードできます。
1月分の申込みを12月1日(火)から受け付けます。
1/ 9(土)　アート★ビンゴ【きん】(※事前申込は不要)
1/16(土)　MOMASコレクション 親子クルーズ(小・中学生+保護者)
1/23(土)　企画展物語 親子クルーズ(小・中学生+保護者)
1/30(土)　工房(小学生から大人まで)
2月分の申込みを1月1日(金)(問合せは5日(火))から受け付けます。
2/ 6(土)　アート★ビンゴ【わかくさ】(※事前申込は不要)
2/13(土)　MOMASコレクション みる+つくる(小・中学生)
2/20(土)　企画展物語 親子クルーズ(小・中学生+保護者)
2/27(土)　MOMASコレクション 親子クルーズ(小・中学生+保護者)

MOMASコレクション(収蔵品展)

第3期

とき・10/10(土)～1/17(日)
ところ・1階展示室
観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)
※(　)内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。

◇ **絵画の景色ー近代から現代へ** ◇ **辰野登恵子ーまだ見ぬかたちを**
◇ **現代の写真ーこころをうつす**



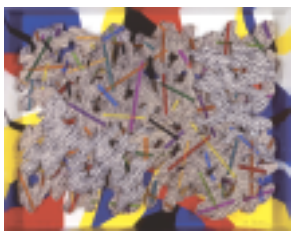
杉山晶子《In-spiral Ⅱ》1998年

《関連イベント》
○ **サンデー・トーク**
とき・12/20(日)15:00～15:30
内容・学芸員が展示作品から1点を選んで解説します。／**作品**・杉山晶子《In-spiral Ⅱ》1998年／**担当学芸員**・梅津元
費用・MOMASコレクション観覧料が必要です。

第4期

とき・1/23(土)～4/10(日)
ところ・1階展示室
観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)
※(　)内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。

◇ **鈍色(にびいろ)の輝きー日本の近代洋画**
和田英作、岸田劉生から埼玉ゆかりの画家まで、明治時代以降の洋画家たちの試みをたどります。



島州一《CFP 43》1982-86 年

◇ **アーティスト・プロジェクト：島州一　世界の変換と再構築**
浅間山に自らを投影した近作《Tracing-Shirt》等を中心に、美術の概念をゆさぶり拡張してきた島州一の世界を紹介します。
◇ **椅子の美術館のイス**
歴史的名脚から個性的なデザインまで、バラエティに富んだ椅子のコレクションを紹介します。
◇ **震える青ー難波田龍起の抽象**
戦後日本の抽象絵画を牽引した画業の一端を、ドリッピング(垂らし)技法を用いた1960年代初めの油彩画を軸に紹介します。

《関連イベント》
○ **スペシャル・トーク「世界の変換と再構築ー島州一の世界」**
とき・1/23(土)14:00～16:00
ところ・2階講堂、1階展示室／**出演**・島州一(美術家)、塚本豊子(双ギャラリー)／**費用**・無料(ただし1階展示室への入場にはMOMASコレクション観覧料が必要)／事前申込不要
※1/23(土)、24(日)を除くMOMASコレクション会期中の毎日14:00から30分程度、1階展示室で美術館サポーター(ガイド・ボランティア)による作品ガイドを開催しています。参加にはMOMASコレクション観覧料が必要です。

一般展示室(地階)

※展示により観覧時間(特に最終日の終了時間)が異なります。

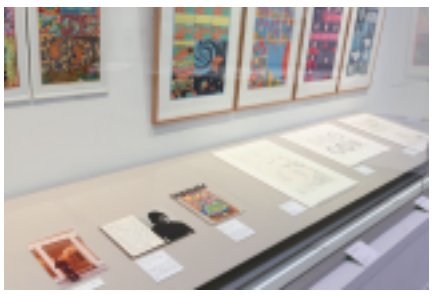
◆ **12/1(火)～12/6(日)**
平成２７年度第５４回埼玉県高等学校書道展覧会（書）…… 一般展示室１～４
◆ **12/8(火)～12/13(日)**
第４９回全日本書道芸術展（書）…… 一般展示室１・２
絵画グループあじ彩と県立桶川高校美術部ジョイント絵画展（油彩・水彩・版画）…… 一般展示室４
◆ **12/10(木)～12/13(日)**
佳羊会グループ展（油彩）…… 一般展示室３
◆ **12/15(火)～12/20(日)**
障害者アート企画展（絵画・彫刻・工芸ほか）…… 一般展示室１
美術工芸家 渋谷龍夫個展（油彩・工芸・書）…… 一般展示室３
第６回彩友会ボタニカルアート展（水彩）…… 一般展示室４
◆ **1/5(火)～1/10(日)**
凛の会展（油彩）…… 一般展示室１～４
◆ **1/12(火)～1/17(日)**
宝船展@MOMAS(美術・音楽ほか)…… 一般展示室１
第９回ラルゲット展(日本画・油彩)…… 一般展示室２
樹は巡る（写真）…… 一般展示室４
◆ **1/15(金)～1/17(日)**
第２８回溪山会書作展（書）…… 一般展示室３
◆ **1/19(火)～1/24(日)**
第４２回埼書連役員新春展・併催「大作展」(書)…… 一般展示室１～４
◆ **1/26(火)～1/31(日)**
文教大学美術専修卒業制作展(絵画・彫刻・工芸ほか)…… 一般展示室１
椿会創作人形展（工芸）…… 一般展示室４

【『ソカロ』開放計画】
―「印刷物の美術」を実践せよ！

今号の紙面を見て驚かれた方も多いのではないでしょうか？これは、今年度に入ってから進めてきた『ソカロ』改革の目玉となる特集【『ソカロ』開放計画】です。まず、『ソカロ』改革は、8・9月号の「はみだしソカロ」からスタートしました。わかる人にはわかってしまうと思いますが、情報誌『ぴあ』の「はみだしYouとPia」(1975～2004年)がモデルです。ページの欄外に読者の短文投稿を掲載する通称「はみだしぴあ」は、編集部と読者を、読者と読者をつなぐ、人気コーナーでした。2011年、『ぴあ』終刊時の特設サイトに「帰ってきた！はみだしYOUとPIA」が登場したように、「はみだしぴあ」は『ぴあ』の遊び心の象徴でした。この遊び心を(勝手に)継承する「はみだしソカロ」は、双方向性という新たな魅力を紙面にもたらすことでしょう(投稿は1階ロビーで随時受付中)。

続いて、10・11月号からレイアウトの自由度を高くしました。企画展「旅と芸術ー発見・驚異・夢想」の記事は、文学的気配をふまえて縦書きを採用。MOMASコレクション「辰野登恵子ーまだ見ぬかたちを」の特集記事との対比が明瞭な紙面になりました。

そして、今号の【『ソカロ』開放計画】です。こちらは、『美術手帖』359号(1972年10月号)の特集「誌面開放計画」がモデルです。この特集では、約60名の美術家らが、編集部から与えられた見開き2ページを、文章、写真、ドローイングなど、自由な発想で構成しており、この誌面自体が、美術作品として成り立つ可能性が示されています。この可能性は、原理的には全ての印刷物に潜んでいるため、A3二つ折・両面カラー・無料配布という広報用フリーペーパーに属する『ソカロ』の紙面も、「誌面開放計画」のように構成できるはずです。



MOMASコレクション第２期「さいきんのたまもの」展示風景
立石大河亞(タイガー立石)のコーナー

そこで、熟慮の結果、当館の収蔵作家であり、MOMASコレクション第2期において近年の寄贈作品・資料を紹介した大河亞立石(タイガー立石)さんと、企画展「動く、光る、目がまわる！キネティック・アート」のスペシャル・トークの講師をつとめていただいた中ザワヒデキさんという、豪華2本立てを計画しました。そして、ここに、タイガー立石『虎の巻』からの転載と、中ザワヒデキさんの手描きによる原寸描き下ろし(アクリル絵具画材＋筆記具＋修正液)が実現し、【『ソカロ』開放計画】の記念すべき第一号が完成しました。

企画展「動く、光る、目がまわる！キネティック・アート」
スペシャル・トーク vol.2「中ザワヒデキのキネティック・アート論」2015年８月２日

昨年、東京国立近代美術館で開催された「美術と印刷物 1960-1970年代を中心に」(『美術手帖』の「誌面開放計画」も展示)が、美術館が集めた出版物や資料によって、「美術と印刷物」というテーマを検証する展示だったとすれば、【『ソカロ』開放計画】の企ては、美術館が発行する広報紙によって、「印刷物という媒体において可能な美術」=「印刷物の美術」を実践することです。どうぞお楽しみください。(G.U.)

ミュージアム・ショップおすすめ商品

冬到来。あたたかいドリンクが恋しくなる時期にオススメしたい、カメラのレンズそっくりな…マグカップ！レンズキャップよろしくフタも付いていますので、ゆっくりとドリンクを楽しむことができます。飾っておくだけでもそのたたずまいがフォトジェニックなマグカップ、カメラが大好きな方へのプレゼントにもオススメです。(K.S.)

《Into Focus》310ml　1,500 円(税抜)
《Micro Focus》80ml×2　1,300 円(税抜)

編集後記

【『ソカロ』開放計画】、いかがでしたか？最初で最後、にならないよう、第２弾も計画中です。(G.U.)

次号、どうやって元に戻ればよいのか、わかりません。(N.O.)

埼玉県立近代美術館
The Museum of Modern Art, Saitama

所在地・〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
TEL・048-824-0111　**FAX**・048-824-0119　**URL**・http://www.pref.spec.ed.jp/momas/
開館時間・10:00～17:30 (展示室への入場は17:00まで)
休館日・月曜日(1/11は開館)、年末年始(12/21～1/4)
入館料・無料　**観覧料**・上記をご覧ください

交通・JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅まで、それぞれ約35分。
※当館に来館者専用の駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります(企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き)。
団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたしますが、台数に限りがありますので予めご了承ください。

彩の国 埼玉県
©埼玉県2005

発行・埼玉県立近代美術館　**編集**・教育・広報担当 梅津元・落合範崇　**原稿執筆**・(G.U.) 梅津元 / (K.S.) 曽根久美子 / 特集【『ソカロ』開放計画】：タイガー立石(おもて面上段)、中ザワヒデキ(おもて面下段)　**デザイン協力**・埼玉大学 高須賀研究室

はみだしソカロ 007　シャガールの絵ってまっすぐになってないからなんとなく苦手だったんですよ。そのなんとなくを解いていくのって自分の内面を知ることでもあるわけだなと気づいたわけでｗ　(職住近接・女性)

はみだしソカロ 008　美術館のはしご旅：埼玉近美→パナソニック汐留＝フランス→ヒヴァ・オア島へ出航。ヴィクトル・セガレンの瞳でゴーギャンを想えば、風も味方だ。BON VOYAGE！　(シェルペ・58 歳・女性)